

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0784
施設名	なごみ保育園
施設所在地	東京都町田市原町田5-1-5
法人名	社会福祉法人七五三会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「音」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
子ども達が日ごろからリズム遊びや楽器に触れる事を楽しんでいる姿が見られるので、音について深めていきたいため。

2. 活動スケジュール

- ① 2024年 9月13日(金) ~室内での音探し~ (4歳児)
- ② 2024年 10月 9日(水) ~音の違いを描いて表現する~ (4歳児)
- ③ 2024年 11月13日(水) ~様々な楽器に触れて音の違いを探す~ (4歳児)
- ④ 2025年 1月15日(水) ~様々な楽器に触れてみる~ (1・2歳児)
- ⑤ 2025年 1月30日(木) ~音を合わせる~ (4歳児)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
・ピアノ、小太鼓、木琴、ギロ、スズ、カスタネット、ウッドブロック、マラカス、エイサー用太鼓
・机と椅子を用意し、子ども達が興味を持って楽器に触れていけるよう机に出し、一緒に音を出しながら、意見が出せるよう環境を作った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・ピアノの音を聞き高低差を感じた後、様々な楽器を鳴らし高い音の楽器なのか、低い音の楽器なのかを意見を出し合いながら、分類した。また、生活の中にある音を探し、分類した楽器のどの音に近いかを考えた。
・保育者の弾くピアノの曲を聞き、分類した楽器の中から曲に合う楽器を選んで曲に合わせて音を出す。
・楽器ごとにリズムを変えて、合わさったらどんな音になるか考える。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・音の高低差を感じて楽器を分類する際に、太鼓の音を鳴らした際に保育者が低いと思っていた音が、子ども達にとっては高い音に感じていた。
・生活の中での身近な音を探した際、本を閉じる音・ビニール袋・鍋・ブロック・折り紙が落ちる音などが出た。出た音の高低を分類していると、「高い音ばかり。低い音がなかなかないね。」と保育者と子どもでも意見が出た。
・ピアノの曲を聞いて、曲の雰囲気合った音を探した際には、「カエルのうた」では満場一致で小太鼓を選び、「蝶々」では、ギロ・マラカス・本を閉じる音・ビニールと全員が違う音を選んでいった。選んだ楽器で、ピアノに合わせて音を出し感想や選んだ理由を聞くと、「楽しくなる音、羽をバタバタしている感じ、ちょうちょが沢山飛んでいる感じ。」と意見が上がり、感覚の違いや音を合わせる楽しさを感じられた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・高低差の分類の活動では大人の感覚よりも、子ども達の方が明確に高低を感じている様子があったように思う。
・曲に合った音を探す際には、曲調に合う音ではなく曲のイメージ(ちょうちょバタバタしている・カエルが跳ねている)で楽器を選ぶ子が多かった。
・身近な音探しでは、意識して探すと低い音がなかなか見つからず難しかった。